

## 大川石材ニュース

## 「石の彫刻国際シンポジウム 2006」

## 岩崎幸之助氏 作品「太陰暦」完成

〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼2775番地13 電話(087)845-9640

FAX(087)845-7510

E-mail [info@ookawasekizai.com](mailto:info@ookawasekizai.com)<http://www.ookawasekizai.com>

大川石材

(株)大川石材は、「石の彫刻国際シンポジウム 2006」の招待作家岩崎幸之助先生のサポート企業として、作品の製作を支援致しました。

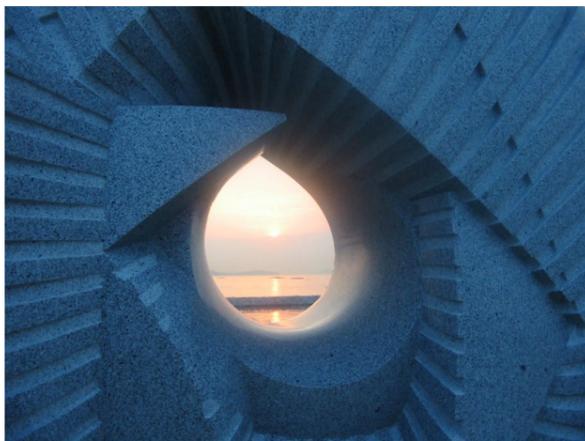
サポートは社長である大川等があたりました。先生の作品は現在、庵治の城岬(しろばな)公園にあり、おれは「太陰暦」だ、というように際立って大きく、海を見据えるように座っています。

作品の穴から眺める風景は、瀬戸内海の暖かさをあらわし、とても風景にマッチします。近くには、映画「世界の中心で愛を叫ぶ」のロケ地もあります。

サポート企業は、自主的に決めます。その大きさ(製作 約縦 2.4M 横 2.3m、奥行き 0.9m、重さ約 8t 原石約 14t) は目を見張るものがありました。その大きさ、作家の高度な技術要求、製作期間からリスクはありましたが、大川石材は、そんななかサポートすると決めました。



石は、大川石材が先生の話聞き、日本で最も適している福島の東山みかげ石を選定しました。製作期間は一ヶ月。先生も大川石材も、連日連夜、石と向き合いました。先生は「造る人に情熱がある」ことを要求します。先生の情熱はつよく感じました。大川石材も石の加工では、絶対に負けない自負心と先生に負けない情熱があります。



大きい。石の工作機械ではまったく太刀打ちできない。昔からの、手作業に頼るしかない。先生の情熱、大川石材の高度な加工技術。毎日、毎日、石と向き合いました。

向き合った、石。今は、海と向き合っています。戦いました。やりきりました。先日、先生からメールが来ました。大川石材が、ぜひ聞いてみたいと思っていた質問へのメールです。

「皆様お変わりありませんか。私はこちらに戻って、幼稚園の記念碑を本小松で作っています。少し制作ペースを落すことで、休まないで休むという作戦で過ごしていたらあっという間に6月も中旬を過ぎてしまいました。大川石材の質問への回答です。」

## Q、「作った、作品への思いは何か」

A、「言い尽くされていることですが、石にはある命が備わっていると感じます。最大限の注意と努力を尽して石を彫ることで、その宿っている命を増幅させて、彫刻を観る人や彫刻の置かれた場所に生命力をプレゼントしたいと願っています。近年、好んで光、風、太陽をテーマに選んで石を彫っているのは、そうした願いからです。ところで、それらテーマはありふれて日常では注意が払われない存在かもしれません。が、例えば科学技術が進歩して人がいかに新製品やハイテクで日常を楽しもうとも、月を眺めて愛でるといようなローテクな楽しみこそが、実はダイナミックに人間に活力を与えるのではないかと思います。「太陰暦」という題名はその思いから名付けました。

## Q. 作品を作る過程で、もっとも要求したい技術はなにか。

A. 石彫の作品をつくる上でもっとも必要な技術は「より正確に先を読む」ことだと思います。彫り始めてから仕上がるまでの間、彫る石の性質や状態や進行具合などにより、段取りとか必要な道具も常に変化していくと思います。下手を打てば仕事量は無限に増え、石は痩せていくばかり。この先どのような段取りで、どんな道具を使えばいいか？最良の選択がなされれば有限な自分の持ち時間、体力、気力、注意力を最大限に活かすことになり、思い描く作品のイメージと出来上がる作品との誤差が少なくなっていくように思います。

## Q. 大川石材は、要求する技術を満足したか

A. 私の制作は往々にして、形を萎縮させることなく伸びやかに見せたいがために、細部のディテールや寸法が全体の出来てくるに従って決定されていくという工程を辿ります。また、曲線や局面が3次的にねじれたりしているので図面に起こすのがとても困難です。それで、手伝って頂いた大川さんに事前に提示できたのは90cmくらいの黒御影で作った、似たような作品の写真と、1/10の縮尺で作った模型だけでした。私の説明能力のなさもあって、さぞかし手伝い辛かったかと思いますが、それでも大川さんは先を読んであれこれと手を打って下さり大変助けられました。石の選択(福島県東山石)も私の頭の中の完成イメージや作業量、作業工程と照らしてもピッタリ(それ以上かもしれない)でした。大川さんでなければ完成はおぼつかなかったと思います。皆々様、本当にありがとうございました。



## 大川石材の場所

